Ohi Town Assembly Official Report

おおい町

議会だより

魅せられたピエール・ド・ロンサール

（12面に関連記事）

体は還暦、気持ちは青年

INDEX

- 新議長就任のご挨拶 …… 2
- 議会構成が変わりました …… 3
- 国民健康保険税が統一されます …… 4
- 一般質問（６月定例会） …… 5
- あれからどうなったの？ …… 11
- 楽しむ人 …… 12

No.14

平成21年7月21日発行

発行：おおい町議会　編集：広報特別委員会　〒919-2111　福井県大飯郡おおい町本郷136-1-1　TEL（0770）77-1111

就任のごあいさつ

おおい町議会　議長　浜田勝美

一言ごあいさつ申し上げます。

本年五月八日の議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、おおい町議会三代目議長の要職に就任することになりました。

誠に身に余る光栄でございます。もとより浅学非才でございますが、その重責を痛感し、議会の使命を果たすべく、誠心誠意努力いたす所存でございますので、今後とも町民各位の一層のご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

大飯・名田庄の両地域が合併し、新町が誕生してから三年が経過いたしました。両地域の更なる一体化への新しいスタートの年となりますが、町政を取り巻く情勢は、極めて厳しく、行財政改革、経済の活性化は、焦眉の課題であります。

議会運営につきましても、昨年「議会活性化特別委員会」を設置し、住民の立場で、そして、住民の目線での議会活動に懸命の努力をいたします。

理事者と議会が一体となり、当面する諸課題に全力を傾注し、健全財政の保持や、住民福祉の向上に努めるとともに、新しい町づくりのために渾身の努力をいたします。

今後とも町民各位のご支援ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

議会構成が変わりました

平成21年5月8日に開かれた議会臨時会において、新しい議会構成が決まりました。
これにより、２つの特別委員会が新たに設置されました。

議　長
浜田　勝美

副議長
中本　茂

■常任委員会

総務（8人）	産業建設（6人）	予算決算（13人）
委員長　小川　宗一	委員長　松井　榮治	委員長　中塚　寛
副委員長　猿橋　巧	副委員長　森内　正美	副委員長　新谷　欣也
委員　浜田　勝美	委員　寺澤　繁夫	委員　猿橋　巧
委員　浦松清八郎	委員　中本　茂	委員　寺澤　繁夫
委員　小野　泰孝	委員　新谷　欣也	委員　浦松清八郎
委員　中川　忠彦	委員　渡辺　均	委員　小野　泰孝
委員　田中　景子		委員　中川　忠彦
委員　中塚　寛		委員　中本　茂
		委員　田中　景子
		委員　松井　榮治
		委員　渡辺　均
		委員　小川　宗一
		委員　森内　正美

■その他の委員会

議会運営委員会（6人）
委員長　浦松清八郎
副委員長　中塚　寛
委員　猿橋　巧
委員　松井　榮治
委員　新谷　欣也
委員　小川　宗一

■特別委員会

原子力発電対策（7人）	挙原揚水発電対策（6人）	議会活性化（13人）	新 企業誘致等（7人）	新 広報（6人）
委員長　田中　景子	委員長　小野　泰孝	委員長　新谷　欣也	委員長　渡辺　均	委員長　森内　正美
副委員長　松井　榮治	副委員長　松井　榮治	副委員長　森内　正美	副委員長　中川　忠彦	副委員長　猿橋　巧
委員　渡辺　均	委員　寺澤　繁夫	委員　猿橋　巧	委員　猿橋　巧	委員　小野　泰孝
委員　猿橋　巧	委員　中塚　寛	委員　寺澤　繁夫	委員　浦松清八郎	委員　中本　茂
委員　中川　忠彦	委員　小川　宗一	委員　浦松清八郎	委員　田中　景子	委員　渡辺　均
委員　中本　茂	委員　森内　正美	委員　小野　泰孝	委員　新谷　欣也	委員　小川　宗一
委員　新谷　欣也		委員　中川　忠彦	委員　中塚　寛	
		委員　中本　茂		
		委員　田中　景子		
		委員　松井　榮治		
		委員　中塚　寛		
		委員　渡辺　均		
		委員　小川　宗一		

■一部事務組合議会

嶺南広域行政組合議会（2人）	若狭消防組合議会（2人）	公立小浜病院組合議会（2人）	福井県後期高齢者医療広域連合議会（1人）
議員　浜田　勝美	議員　田中　景子	議員　松井　榮治	議員　浜田　勝美
議員　浦松清八郎	議員　小川　宗一	議員　中塚　寛	

3・4回臨時会　こんなことが決まりました　6月定例会

第３回臨時会（５月８日）では、教育委員会委員の任命など11議案を、第４回臨時会（５月25日）では、職員や町長などの期末手当を一時的に減額する条例の改正を可決しました。

また、６月定例会（17日～26日）では、一般会計補正予算（２億1733万７千円）や、道路改良工事の契約締結など14議案を可決しました。

国民健康保険税が統一されます

国民健康保険税条例の改正

この改正は、合併協議により３年間認められていた、地域間の不均一課税を統一するものです。

統一にあたっては、健全な制度運営を行うことを前提としているものの、被保険者の方の負担をなるべく少なくする方針で税率が検討されています。

その結果、被保険者の方の負担は、改正前と比較して軽減されることとなっています。

この条例改正は、全会一致で、原案どおり可決されました。

名田庄小学校の耐震改修工事は3億1290万円で契約

工事請負契約の締結

この工事は、耐震診断を実施した結果、耐震性が劣ると診断された名田庄小学校校舎の耐震改修を行うものです。

先に実施された入札の結果、株式会社熊谷組福井営業所が３億1290万円で落札しており、全会一致で、その契約締結が承認されました。

また、同じく、耐震性が劣ると診断された大飯中学校生徒昇降口棟の補強改修工事5775万円の契約も併せて提案され、全会一致で承認されました。

耐震改修工事が行われる名田庄小学校

総額約2億4千万円を追加補正

一般・特別会計6月補正予算

経済危機対策として、国の補正予算に盛り込まれた「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」の対象事業として、11事業に1億2676万円を追加するなど、所要事業経費の追加を行うものです。

特別会計補正予算と合わせて４議案が、すべて原案どおり可決されました。

一般会計

2億1733万7千円

【主な歳出】

・県単林道改良事業
（新鞍谷線・槇谷線・小松谷線）
4230万円

・おおいの住まい支援事業
（住宅新築・改築補助金）
325万円

・道路新設改良事業
（野尻線・小倉畑6号線など）
6832万4千円

・緊急山地崩落保全対策事業
（本郷・槇谷）
3165万6千円

国民健康保険事業特別会計
1260万円

国民健康保険診療事業特別会計
1260万円

農業集落排水事業特別会計
△21万4千円

一般質問

6人の議員が町政をただす

小川　宗一

■平成21年度予算と重要・重点施策の取り組みは

限られた行政資源を有効活用し、改善・改革を進めます

問 未曾有の経済不況の現状を見て、平成21度予算は町内の融和と均衡を図るため、積極的に前倒した当初予算と認識しています。

本町の財政環境が多目的な変化をする今、行政運営として新たな模索と改革展開を積極的にする時であると考えます。

行政の効果的で効率的な行政経営は。

答 （町長）限られた行政資源を有効活用した、財政基盤の強化を進めます。

改革の実現では、男女共同参画社会では女性管理職の登用、上下水道料金の統一、乳幼児医療費助成年齢の拡大などに取り組んでいるところです。

問 財政基盤の強化策は。

答 （町長）国・県補助事業の積極的な活用と、微収の強化、町税の増収対策としての企業誘致など、引き続き積極的に取り組む考えです。

■景気低迷の中、地場産業・特産物の健全運営は

短期・中期を視野に経営改善を行います

問 公益企業として地域役割を、明確に意識しての新たな事業活性化は。

答 （副町長）本町の第3セクターなどは9社あります。目的・種別・体制が異なっていますが、精力的に企業健全化を目指し、安定的な経営を維持する改善施策を指導していきます。

問 働きやすい職場などの環境改善は。

答 （副町長）職場環境を定期的に見て回り意見などを聞き、整理・整頓の励行、環境美化、定期的ミーティングの開催、働きやすい風通しのよい職場などの改善の指導をしていきます。

問 職場衛生環境の視点で点検・確認していますか。

答 （副町長）専門的また、計画的な巡回確認は出来ていませんが、今後あらゆる機会を捉えて、新しい目線で角度を変えて指導します。

問 地場産業の販路開拓は。

答 （副町長）町内の全ての第3セクターと、販路の開拓などで総合協力し、情報交換を密接にしながら強力に進めていきます。

■町の環境基本計画の新たな展開は

行動に結びつく基本計画を策定します

問 住環境問題を大きく取り上げている自治体が増加しています。

町としての環境保全活動の基本的な推進は。

答 （企画課長）素案をもとに、個々の環境施策の実行性の検討や、各課の役割分担・連携協力体制も併せて協議を進めている段階です。

問 「自然を愛し、訪れる人に感動を」この環境未来像のわかりやすい実践計画は。

答 （企画課長）10年後を見据えた長期目標として、町の宝である海や川、山里の美しい風景、癒しを感じる意味を込めた環境事業とします。

問 計画の策定にあたっては、「名田の荘郷づくり構想」の環境4条例の思想が組み入れられていますか。

答 （企画課長）新しい方向性で検討・調整をしている段階です。

高い管理目標を取り入れず、環境のために何をしたらよいのかに気づいてもらえる、実効性のある幅広い計画としていきたい。

森内　正美

■水源開発調査事業の概要と今後の見通しは

本年度は地下水・表流水の水量調査などを実施し、その後、取水候補地を選定して、計画に入ります

問 生活用水や企業誘致を進めるためには、水の安定的な供給が重要です。

本年度から始まる水源開発調査事業の水源調査地点は、どの地域を選定されましたか。

答 （町長）広域的な視点で、最も安定した水の需要に対応可能な候補地として、南川上流の納田終、道木谷川を第一候補地として選定しました。

問 基本的には、分水嶺を越えない地点での水源調査が望ましいと思います。

佐分利川水系での調査も予定されていますか。

答 （町長）過去に佐分利川水系上流での計画がありましたが、困難な課題も残っています。

本年度は、南川水系上流の別の場所でも地権者や地元住民の理解を得て、調査を進める予定です。

問 このほど策定された水道ビジョンによると、新たな水源は河川水、表流水に求める構想ですが、地下水からの取水も考えていますか。

答 （町長）本年度は地下水、表流水の両面から水量、水質調査、取水した場合の影響調査を実施します。その結果をみて、また水利権の問題も含め総合的に協議をします。

問 将来、成海地区の企業誘致が進んだ場合の1日当たりの計画給水量は。

答 （商工観光振興課長）企業の業種によって大きく異なりますが、5区画で1日当たり約360㎥を想定しています。

問 当面は大津呂ダムに依存しても、将来は大飯地域の水不足解消と企業誘致を積極的に進めるために、水対策事業の計画が必要です。今後の進め方は。

答 （町長）水源調査の結果がでた段階で取水量や取水方法などを検討し、中長期的な目標として事業を進めます。

水源調査が予定されている南川水系上流

■水道管の鉛管部分の取り替えを早急にすべきでは

年次計画を立てて、順次対応していきます

問 名田庄東中部地区の配水管と給水管の取出し部や量水器の前後に鉛管が使用されています。

鉛管は漏水事故が多く、また人体に害があるという説もあり、現在は使用禁止になっています。早急に取り替えるべきです。

この地区の未整備件数と取替え費用は試算されましたか。

答 （生活環境課長）約6割の430件が未整備になっています。また、費用は4300万円程度になります。

今後は、管の布設替え時に取替えを行います。また年次計画を立て、順次対応していきます。

問 鉛管使用箇所の水質検査を実施していますか。

答 （生活環境課長）2箇所で実施した結果、基準値1リットル当たり0・01㎎に対し0・001㎎以下の値でした。

問 鉛は体内では消化されないので、基準値以下でも長年飲んでいれば健康上に影響が出るという学説もあります。

関係機関に問い合わせをされましたか。

答 （生活環境課長）関係機関に問い合わせたところ、値が小さいので、影響はないだろうとの見解でした。

今後も検査結果を注視していきます。

中本　茂

■長年放置している南浦埋立地を、有効活用する計画はありますか

償還が終わるまでは、計画の変更はできません

問 この埋立地は、漁業後継者の住宅用地、観光開発企業の誘致を目指したレジャー施設用地、漁業振興を図るための漁港施設用地として埋め立てを行っています。

住宅用地はすでに分譲が終わり有効に活用されましたが、残りの土地は放置された状態です。

住宅を望んでいる人のために、住宅用地に用途変更をして、分譲する考えはありませんか。

答 （町長）企業誘致を取り巻く状況は、この先好転するきざしは見えません。

原子力発電所の立地拠点として共生できるものを含めて、利用されていない用地を原点から見直すこととしています。活力ある漁村づくりになる方策を計画しています。

問 埋め立てが完了してから17年間、新たな開発を目指してこの方針を堅持する、転用は考えていないとの姿勢ですが。

答 （町長）あと2年で埋立費用の償還が終わります。現時点での転用は、いろんな方面に影響がでる懸念があるので難しいと考えます。

問 この土地を放置したことに対して、いまだに計画が明らかではありません。

今、転用ができないのならば、償還が終わった後の具体的な施策を示してください。

答 （町長）償還金の財源は、事業の収益を予定していましたが、他の費用を当てていることから、2年後でないと具体的なことは言えません。

放置されている状態のレジャー施設用地

■大島公民館の今後の利用方法は

地区の公民館として、今後も残していきます

問 この建物は、はまかぜ交流センター「しーまいる」が出来るまで、地区の公民館として利用されてきました。

その後は、ほとんど利用することもなく管理されていますが、別の利用方法、また転用計画はありますか。

答 （生涯学習課長）公民館事業の多くは、住民の利便性への配慮や施設が充実していることから「しーまいる」にゆだねています。

大島公民館は、これからも必要最小限の施設維持費のなかで、公民館機能を保持していきます。

問 国の補助対象施設であっても、転用承認手続きの特例措置があると聞いていますが。

答 （生涯学習課長）転用は、指摘のとおり地域再生支援の観点から、特例措置で緩和される時代になりました。

しかし、大島公民館は「しーまいる」も含めて、電源関連交付金で施設機能分担のもとで整備されているので、転用は困難と判断しています。

今はほとんど利用されていない大島公民館

渡辺　均

■プルサーマル発電計画をどう考えますか

必要性は十分理解しています

問 エネルギー資源の乏しいわが国は、資源の96％を輸入に頼っている現実があります。

限りのあるウラン資源を有効に利用し、燃料のリサイクルを行うことで、エネルギーの安定供給を実現していくことが不可欠です。

6月12日に報道された「電気事業連合会」のプルサーマル計画の見直しでは、2015年までに大飯発電所でも1基から2基の導入が予定されていますが、どのように考えますか。

答 （町長）国策としてのプルサーマル計画は、その重要性を十分理解しています。

しかし、現在、大飯発電所のプルサーマル計画への動きは白紙の状態となっています。

計画がなされた場合には、その時点で先行導入された発電所の安全状況を見極め、また、諸条件を踏まえて判断をしていきます。

プルサーマル発電が計画されている大飯発電所

■企業を誘致する作戦は

1社が内定しています

問 成海地区、大島地区の町有地に企業を誘致する対策は進んでいますか。

答 （副町長）企業訪問活動などを積極的に行ってきた結果、ホームセンター関連企業と最終協議を進めています。

また、数社から問い合わせがきています。

■うみんぴあ地区に町内商店の出店は

積極的に利活用を提案中

問 複合型交流施設のオープンを機に、うみんぴあ地区が町の交流人口の中核基地となるように、町の商工会を中心とした取り組みが必要では。

答 （町長）商工会をはじめ、農業や漁業関係者などで構成する「うみんぴあ大飯賑わい創出検討委員会」を立ち上げ、その中で、企業誘致用地の一部を、町内関係者の皆さんに利用していただくことを前提に検討中です。

■町内に眠る文化遺産の開発をすべきでは

再調査を検討します

問 おおい町郷土史料館には、宝尾山山岳寺院の遺物が、仏像をはじめ当時の史料30点以上展示されています。

現地には、この史料につながる案内や説明が何一つありません。

おおい町環境基本計画の中で、「歴史・文化を大切にした自然共生の町づくり」が行動計画の中に検討されています。

地域の宝は町の宝です。交流人口の環を広げていくためにも必要な対策であると考えますが。

答 （生涯学習課長）町単独事業として取り組める規模や時期ではないと認識しています。

しかし、今後、調査の方向性や保存と活用の可能性を検討していきます。

今も川上の奥に眠る宝尾山山岳寺院遺跡

中塚　寛

■うみんぴあ大飯のリーダーシップはだれが担うのか

行政が連携して行います

問 PFI事業による複合型交流施設は、民間活力の参入により最小の投資で最大の効果を得ることにあります。原子力立地地域特別交付金の一括交付で、金利が節約されましたが、6億7千万円もの大規模修繕費を、当然町が支出するという方向性は、事業趣旨との整合性に欠けませんか。

答 （町長）すべてのリスクを受注者に押し付けてはならないと考えています。

問 複合型交流施設の運営に支払うサービス対価が、国への申請では10億8千万円であったのに対し、SPC（特別目的会社ベイフロントプラザおおい）の提案では、21億7千万円と差異があるのはなぜですか。

答 （商工観光振興課長）標準的に見積もった国への申請額と、SPCが具体的に検討して提案してきたものとの差異になっています。

問 広報活動は、町が一括して行うのですか。

答 （副町長）町とSPCが共同で行います。

問 当初契約時点と比べて、協力会社の変更はありますか。

答 （町長）地元1社、周辺市町1社が含まれていましたが、どちらも今は参画されていません。

問 契約により、担当事業者が変更になった場合は、町へ報告し、承認を受ける必要があるのでは。

答 （町長）元請け業者の変更は報告を受けていましたが、下請け業者は知らされていません。

問 リスク管理の点から、町に知らされていなかったことには問題があります。

リスク管理委員会はどう機能しているのですか。

答 （商工観光振興課長）建設は、三菱UFJコンサルティングがチェックし、リスク管理委員会は、事業運営開始段階で組織されます。

問 ホテルの稼働率が30％でも、赤字分は町が補てんすると聞きましたがその真偽は。

答 （町長）一切聞いていません。SPCの利益追求の面からもありえないと思います。

問 地元商工観光業者をはじめ、グリンツーリズム、スーパー大火勢、こども家族館、エルガイアなど、各関連諸団体と連携をとり、町を挙げて観光客の誘致を図る必要があります。商工観光振興課だけでなく、庁内各課が連携し、行政が主導するべきでは。

答 （町長）指摘のとおり、各課が連携して民間活力を集約することも大切です。

問 **町の集大成事業なら、ビジネスチャンスの提供など、利益供与がなされ、町民の求心力を高めるためにも、行政が主体的に主導すべきでは。**

答 （副町長）庁内が連動するためにも、商工観光振興課がリーダーシップをとります。

オープンが目前に迫った複合型交流施設

■社会教育の推進方針は

町民との協働で取り組みます

問 急速に失われつつある社会秩序や規範を再構築するために、人材育成にかかわる社会教育は重要です。新教育長の所信は。

答 （教育長）「健やかな心と生きる力にみなぎる人を育む まちの創造」の達成のために、住民と行政が一体となり、社会の教育力を高め、絶えず向上に努める町民性を養うよう社会教育を推進します。

猿橋　巧

■生活弱者対策の充実を

町営住宅の増設を、実施計画を立てて進めたい

問 水道使用料の基本料金は1000円ですが、使用量に応じた体系にすべきでは。

答 （生活環境課長）給水原価と供給単価の差が大きくなり、料金値上げにつながるので、減額は難しい。

問 平成23年6月までの設置が義務化されている火災警報器の支援策は。

答 （総務課長）高齢者などへの助成制度で、1器設置分の9割以上の助成を行いました。

今後も、さらに普及に努めます。

問 町営住宅の増設、また、入居条件（連帯保証人など）を緩和すべきでは。

答 （建設課長）増設は中期振興事業実施計画に組み入れて進めます。

連帯保証人の条件を変えることは考えていません。

■地域経済の活性化策を提案します

6月補正予算で一部対応します

問 町民が町内業者を利用して住宅を改築・改修する場合に限り、その一部を助成する制度を創設してはどうですか。

答 （副町長）町商工会会員に発注して、町産材や県産材を使用するなど、一定の基準内であれば、県と町で助成する事業を、6月補正予算に計上しました。

問 町が発注する小規模な公共施設の修繕などを、町内の全ての業者に希望者登録をしてもらい、受注機会を増やすことはできませんか。

答 （副町長）現在、小規模工事は、「おおい建築協同組合」へ発注しています。

今後は、「見積書徴収業者選考委員会」で検討します。

■名田庄地域の産業振興のあり方は適正ですか

効率的なものは進め、経営不振のものは再検討します

問 名田庄ウッディーセンターと森林組合の事務所は共同建物ですが、管理責任の問題は生じませんか。

答 （町長）名田庄地域の林業は、森林組合の施業で支えられています。

合併後も、ウッディーセンターとは密接な関係で、林業の活性化を図ることが重要です。

今後、ウッディーセンターに施設管理をお願いする予定なので、合築は効率的で問題はありません。

問 町長は、西谷地区の産業団地化方針として、シイタケ生産施設の移転も考えていると発言されましたが、本意を聞かせてください。

答 （町長）この施設は、多くの町民を雇用している重要な施設です。

施設の移転を計画していましたが、老朽化が進み経営が悪化したため、再検討をすることにしました。

あくまでも西谷地区は農産加工施設だけを建設します。

移転が検討されていた名田庄バイオテック

■国・県事業の町負担割合を見直しさせるべきでは

見直しに向けての検討が開始されています

問 現行の国・県事業の町負担割合は改める必要があります。負担率の軽減を要求すべきでは。

答 （町長）受益者負担の原則から、応分の負担は仕方がないと考えます。この制度の見直しに向けての動向を注視します。

追跡 あれからどうなったの？

1年前の一般質問

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。
今回は、平成20年６月定例会からピックアップしました。

不均一課税統一の見通しは

大飯地域と名田庄地域で、不均一課税となっている固定資産税と国民健康保険税を、統一するのはいつですか。

（猿橋巧・森内正美 議員）

町長答弁

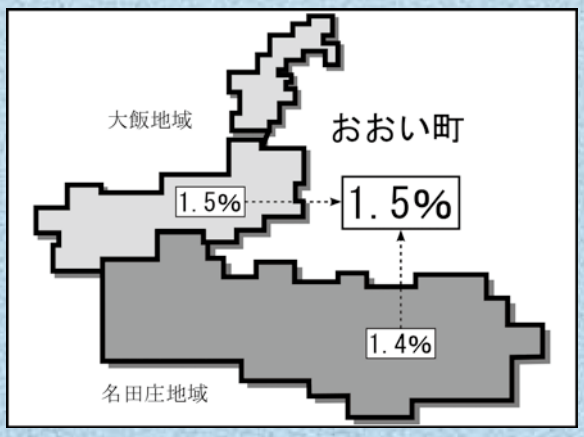
平成21年度で統一します

固定資産税は、合併協議により税率1.5%で統一することになっています。
また、国民健康保険税は、21年度の統一に向け最終的な税率調整をしています。

どうなった？

どちらも今年度統一されました

６月定例会で国民健康保険税条例の改正が認められ、平成21年度分からは、どちらの税率も町内で統一されることになりました。



税率1.5%で統一された固定資産税

建設が進む林業振興拠点施設

名田庄森林組合などの今後は

名田庄地域の森林組合とウッディーセンターを同じ町有地に移転されるようですが、その目的は。

（小野泰孝 議員）

町長答弁

効率的な運営が期待できます

１カ所に移転し、合築することにより、集荷と市場の両方の機能を備えることができ、効率的な運営が期待できます。

どうなった？

４月に新築工事起工式が終了

この４月10日に名田庄森林センター（仮称）新築工事の起工式が行われ、間もなく完成する予定です。

楽しむ人

ハッスルプレーでがんばってます
還暦軟式野球チーム　南川クラブ

旧名田庄四ヶ村で還暦（60才以上）を迎えた野球好きの者が、今後、年老いても野球ができる道を残そうと相談してチームが出来ました。

平成13年にチームを結成、県の還暦軟式野球連盟に登録しました。旧名田庄四ヶ村の南川流域の人達を中心に結成しましたので、チーム名は「南川クラブ」とすんなり決定しました。現在は、名田庄地域から15人、小浜市8人、大飯地域1人の総勢24名のメンバー構成となっています。

県下に13チームあり、月2～3回日曜日を利用して、県内の会場をまわって、全チーム総当りのリーグ戦を行っています。福井県では50代の2名が、常時出場出来ることになっています。投手と本塁間は16ｍ30㎝で、塁間は25ｍと学童野球より少し長くなっています。もちろんボールは一般より少し小さいB号球です。

この集合写真は、昨年の対戦成績をもとにして3チームが出場した、今年の西日本還暦軟式野球大会の時のものです。

プレーは、頭で分かっていても身体がついていかないのですが、本人は真剣そのものです。あたりまえに捕球して、あたりまえに打って、ナイスプレー、ナイスバッテングと声をかけあってハッスルしています。皆が明るく、元気で、楽しんでいます。

これからも、ハッスルプレーで頑張ります。

（小野）

監督　田中清美　　主将　林　義男

バラに魅せられてガーデニング
芝崎　芝田晃子さん

12年前に初めて買って植えたバラが、それは見事に咲きました。このバラの花に魅せられて、家の前の畑をバラ園に変えていきました。魅せられたバラの名前は「ピエール･ド･ロンサール」（表紙の写真）です。

ガーデニングに必要な支柱、アーチなどの構造物はご主人のお仕事、バラの種類の選択と植え込み、剪定、施肥と1年を通しての手入れは芝田さんの受け持ちです。ご夫婦共働の庭作りになっています。

今年のバラは天候に恵まれて、特にすばらしい咲きようで大勢の皆さんに観賞していただきました。

芝田さんの本業は洋裁です。「顧客の要望から素材の選定、デザイニング・カッティング・縫製とすべて手作りで行い、お客様が喜んでいただける洋服が出来たときの感激は私のバラ作りと同じです。春に咲いてくれる花の姿を思い浮かべて、1年を通して暑いときも、寒い冬も愛情をこめて、手入れをすれば必ず応えてくれるのがバラです。ものづくりの共通はいつも感動を追い続けていくことだと思います」とおっしゃっていました。

花盛りを過ぎた梅雨空の下で、咲き残っているバラの手入れをする芝田さんの姿が今日もありました。

（渡辺）

【編集後記】

5月臨時会で議会構成が変わりました。今までの広報委員会も「広報特別委員会」として設置されました。

町民の皆様に議会の活動を広くお知らせする責務が以前にも増して重くなりました。読み手の立場になって、見やすく、わかりやすい、正確な情報を伝える広報になるよう委員一同取り組みます。

さて、今回の「議会だより」は変更になった議会構成をお知らせします。新たな委員会も設置しました。お手元に保存していただき、ご意見、要望など関係委員会にお寄せください。

表紙と裏表紙には、「楽しむ人」と題して、町内の人々の生き方や行動、活躍を紹介する企画をしました。

登場される方を募集していますので、議会事務局までご一報ください。いつでも、どこでも取材に出かけます。

これからも議会活動がよくわかる紙面づくりに努めます。

（森内）